



UPM **BIOFORE** **BEYOND** FOSSILS

日本語

化石燃料に頼らない未来へ

木質繊維、分子、残余物、副産物は未来の原材料です。

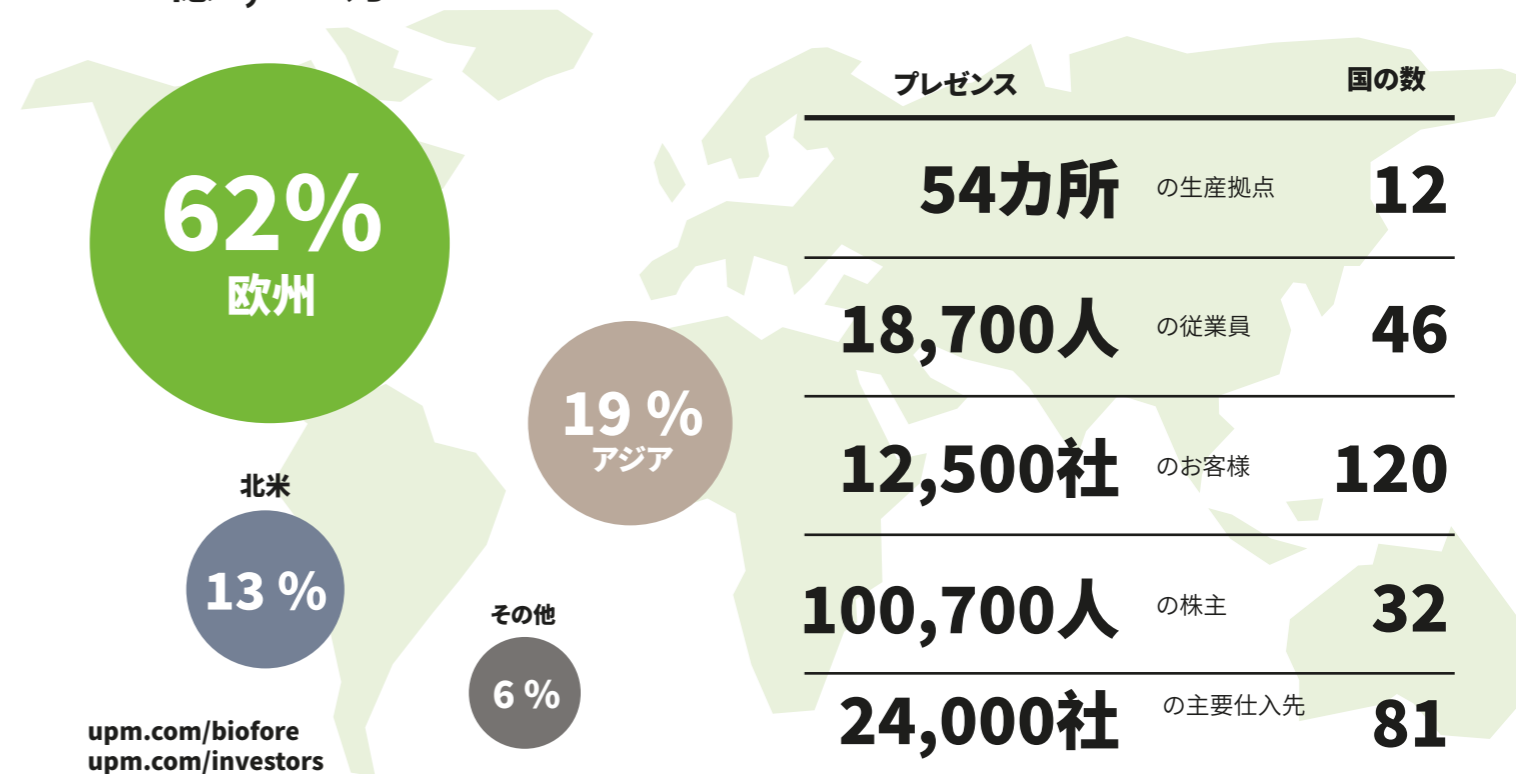
UPMは、これらの原材料を再生可能で責任ある製品の製造に数十年にわたって利用してきました。私たちは、脱化石燃料後の先の未来を確信しています。

当社は6つの事業部門全体で脱化石燃料の実現を目指し、森林を基盤とするバイオインダストリーを持続可能で革新的な化石燃料に頼らない未来へと導きます。

2019年度UPMエリア別売上(単位:ユーロ)

102億3,800万

グローバルなビジネス展開



毎日の暮らし につながる 安全で持続可 能な製品群

製材
建設用

ラベル素材
食品包装材、飲料用ボトル
および情報共有用

特殊紙
食品包装材用

バイオ複合材
家電および保管用

木材
建設および内装用



電力
照明、暖房および機器用

パルプ由来材料
または包装材、輸送、保管
ならびに衛生製品

出版用紙
書籍および広告用

オフィス用紙
印刷用

木材
家具および家財用

成長の推進力

UPMは成長分野に集中投資をして長期的な収益および成長基盤を構築し、高い競争力を実現しています。

成長を推進する主な共通要素は、高品質な製品の生産に関する確かな専門知識と高い参入障壁です。

特殊包装材 原材料

ラベル
原材料 特殊紙

情報用紙

高付加 価値 繊維

植林 パルプ

合板

高分子 バイオ製品

バイオ燃料 バイオケミカル
製品

エネルギー

UPMは、全事業分野での拡大を目指し、特に特殊包装材、高付加価値繊維、高分子バイオ製品の3事業分野を推進力として重点的に取り組んでいます。

新たな成長戦略

2022年完成予定の世界トップクラスのパルプ工場

- ユーカリパルプ年間210万トンの生産能力
- 工場敷地に27億ドル、モンテビデオ港湾運営とパソ・デ・ロス・トロスの工場周辺地域に3億5,000万ドル投資
- パルプ生産容量が57%増となり、将来的なUPMの収益に大きく貢献
- 2022年下半期に稼働予定



木質由来の生化学材料で全く新しい事業を創出

- ドイツ・ロイナの産業規模のバイオ燃料精製所に5億5,000万ユーロ投資
- 様々な化石燃料由来の材料を100%木質由来のバイオ材料に代替
- 総生産能力年間220,000トン
- 2022年末に操業開始予定
- UPMの高い基準に準じた安全で持続可能な供給体制



成長に向けた革新

化石燃料由来の原材料から、リサイクル可能な新素材の転換要請が高まっています。

当社は新技術を開発し、革新的な方法で化石燃料由来の原材料の代替となる再生可能な製品の供給体制を拡張しています。木質繊維、生体分子、残余物および副産物は、未来の原材料としてますます重要になっています。

upm.com/innovation
upmbiofuels.com
upmbiochemicals.com
upmbiomedicals.com
upmprofi.com
upmformi.com



バイオ燃料

輸送時の温室効果ガス成分の低減と排ガス量を大幅に削減

- あらゆるディーゼルエンジンに対応する再生可能なディーゼル燃料
- 軽油の主成分としてまたは石油化学産業の代替燃料としての再生可能ナフサの開発



バイオケミカル

石油由来の原材料に代わるバイオケミカル

- 樹脂、接着剤、プラスチック、ポリウレタンなどに利用できるリグニン
- 繊維、ペットボトル、包装材、着氷防止製品、複合材、化粧品、医薬品、洗剤など、木質由来の再生可能グリコールを利用する最終用途セグメント



バイオ複合材

化石燃料由来の製品群

- 外装材用UPM ProFiデッキ製品
- UPM Formi - 顆粒
- 製品試作、設計、建築に利用される3Dプリント用UPM Formi材料



バイオメディカル用途

- 3次元細胞培養などのバイオメディカル用途に最適の木質由来GrowDex®ハイドロゲル
- 合成原料の代わりになる木質由来のナノセルロースを使ったFibDex®創傷包帯

責任ある行動で業界をリード

企業として責任ある行動に取り組んできたUPMは、複数の第三者機関から高い評価を受け、さまざまな領域で業界リーダーの仲間入りを果たしています。

upm.com/responsibility

UPMのBiofore戦略 - 社会的責任と取り組み

国連グローバル・コンパクトLEAD:UPMは、長年社会的責任の取り組みを行ってきましたが、世界トップクラスの企業として認められました。国連グローバルコンパクトLEADに参加している36社のうち、唯一の森林産業企業であり、初のフィンランド企業です。

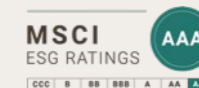
CDPプログラム:UPMは、気候リスクの緩和、森林伐採の防止、水資源の管理強化という重要な取り組みが認められ、世界で6社しかないAAAリストに認定された企業の1社となっています。UPMは、気候変動、森林、水でAリストの評価を得ました。

ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス:UPMは、ヨーロッパおよび世界を対象にしたダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス2018-2019の森林産業および製紙業界のリーダーとして認定されました。

RobecoSAMのSustainability Yearbook:UPMはRobecoSAMの2019年および2020年のSustainability YearbookでGold Classに認定されています。UPMは、所属する業界において最高の評価を獲得した企業の1社であり、優れた持続可能性の実績が認められました。

MSCI ESG格付け:UPMは、MSCI ESG格付け評価でAAA評価を獲得しました。MSCI ESGリサーチは、各社がどの程度業界特有のESGリスクにさらされているか、および同業他社と比較した場合に、これらのリスクをどの程度管理する能力があるかに応じて、グローバルの公開会社のMSCI ESG格付けを実施しています。

Corporate Knights:UPMは、Corporate Knightsの選出する世界で最も持続可能性の高い企業100社の中で23位の評価を獲得しました。また、製紙および森林製品カテゴリーでは唯一の選出企業となりました。



気候変動抑止への取り組み

当社はBiofore戦略を通じて、低炭素経済への移行を推進しています。森林、木質由来製品、低炭素エネルギーには独自の役割があり、当社戦略に沿って気候変動への影響を緩和します。

当社は国連の「Business Ambition for 1.5°C Pledge」に賛同し、グローバルな温度上昇を1.5°Cに抑えるべく、科学的根拠に基づいた対策に取り組んでいます。

BUSINESS AMBITION FOR 1.5°C   **OUR ONLY FUTURE**



森林
無限の可能性をもたらす
持続可能な森林管理

- ・炭素吸収源として機能を果たす、持続可能で管理の行き届いた森林で育つ木材こそが最も重要な原材料
- ・生物多様性を維持したエコシステムを促進して、気候変動の影響を抑制



生産
責任ある生産

- ・生産エネルギー効率向上を継続的に推進
- ・循環経済ソリューションを採用して資源効率を改善
- ・事業全体で、再生可能で低排出のエネルギー利用を継続的に推進



製品
革新的、再生可能、
リサイクル可能な製品とソリューション

- ・再生不可能な材料から低排出量で再生可能な材料へと切り替え
- ・真の炭素吸収源として機能を果たす製品を開発、生産
- ・安全で持続可能なソリューションを通じて世界の事業と生活を変革

UPMバイオ素材関連事業

UPMパルプ部門とUPM製材部門

UPMバイオ素材関連事業には、パルプ、製材、バイオ燃料があり、一貫生産を実施しています。UPMパルプ部門では、ティッシュ、特殊紙、グラフィック用紙、段ボールなどの幅広い最終用途向けに、ユーカリ、白樺、針葉樹を原料に幅広いグレードのパルプを責任を持って生産しています。

UPM製材部門では、建設、建具、家具など、多数の用途と最終用途向けに認証を受けた高品質の木材を提供しています。

upmpulp.com
upmtimber.com

事例

バイオエコノミーの推進力

パルプは、衛生用品から包装材まで、増え続ける日用品需要に対応する、最適で再生可能な材料です。多用途に対応するため、化粧品や衣料品から食品および医薬品まで、その他の無数の最終用途にも利用できます。パルプそのものは、多数の再生可能製品や革新的製品に利用できるため、パルプ生産の残余物と副産物も多用途に利用できます。さらに、バイオ燃料、バイオケミカル製品、バイオプラスチックの原料としても利用できます。



UPMバイオ燃料

UPMバイオ燃料部門は、あらゆるディーゼルエンジンに適した再生可能な木質由来ディーゼル燃料と、再生可能なナフサを生産しています。この再生可能なナフサは、ガソリンの生体成分として、または石油化学産業の化石原料の代替品として使用できます。

upmbiofuels.com

事例

森林から食卓まで

乳製品メーカーのArla社は、木質由来の容器を使って、4,000万点もの製品をスーパーマーケットに納入しています。Arla社は、UPM BioVernoナフサを原料とする木質由来の再生可能バイオプラスチックを、牛乳、ヨーグルト、調理用製品のゲーブルトップカーボン容器にフィンランドで初めて採用した企業です。木質由来のバイオプラスチックを採用することにより、化石燃料由来のプラスチックを年間180,000 kgも削減して、包装材のカーボンフットプリントを1/5まで削減できます。



UPMエネルギー

UPMエネルギー部門は、コスト競争力のあるゼロ炭素発電と電力取引、金融電力取引、産業電力消費者向けのエネルギー最適化サービスを通じて、価値を創出しています。

upmenergy.com

事例

気候ソリューションの提供

気候変動の緩和には、化石エネルギー源の代わりに再生可能エネルギーやその他のCO₂排出量ゼロエネルギーを使った発電が大量に必要です。当社では、CO₂排出量ゼロの水力発電と原子力発電により、ほぼ100%の電力を供給しています。



UPMラフラタック

UPMラフラタック部門は、食品、飲料、パーソナルケア、医薬品、小売などの業界向けに、ブランディング、販促、情報、機能標示などのラベル用に革新的で持続可能なラベル材料を提供しています。

upmraflatac.com

事例

Forest Film再生可能材料を使った持続可能なフィルム

UPMラフラテックのForest Film™は、UPMバイオ燃料部門と協力して開発した業界初の木質由来フィルムラベル材料です。原材料は、パルプ生産時の残余物であるトール油から作られた再生可能なUPM BioVernoナフサです。



UPMスペシャルティペーパー

UPMスペシャルティペーパー部門は、ラベル素材、リリースライナー原紙、軟包材のほか、ラベル材、シリコン塗工、包装材、事務用および印刷用のオフィス用紙およびグラフィック用紙を提供しています。

upmspecialtypapers.com

事例

バリア紙は、待望のプラスチック代替品です

UPMは、包装/ラッピング用にリサイクル可能で再生可能なバリア紙を鋭意開発しています。このような特殊紙は、食品用などでプラスチックコートを使い捨て包装材の代替として利用できます。生分解紙は、今後高い需要が見込まれます。



UPMコミュニケーションペーパー

UPMコミュニケーションペーパー部門は、広告、出版、および家庭やオフィスで使われるさまざまなグラフィック用紙を提供しています。

この用紙は、責任ある、信頼性の高いコミュニケーションチャネルとして、消費者ニーズに応え、厳しい社会責任基準と環境責任基準にも対応します。さらに、再生可能な材料であり、有効にリサイクルできます。製品は、森林からリサイクルまで、ライフサイクルを通じて持続可能です。

upmpaper.com
responsiblefibre.upm.com

事例

循環経済の先駆者

当社の用紙は、責任ある、信頼性の高いコミュニケーション手段に対する消費者ニーズを満たすよう生産されており、厳しい社会責任基準と環境責任基準に対応します。さらに、再生可能な材料であり、有効にリサイクルできます。製品は、森林からリサイクルまで、ライフサイクルを通じて持続可能です。



UPM合板

UPM合板部門は、建設、車両フローリング、LNG造船、構造材製造、その他の産業用途向けの高品質なWISA®合板およびベニア製品を提供しています。

wisaplywood.fi
upmgrada.com
wisabiobond.com

事例

建設を簡易にする難燃性合板

建築物の防火性は、設計段階で確保する必要があります。WISA-Spruce^{FR}難燃性構造材を使うと、設計が簡易になり、材料の使用量を削減できます。軽量で耐久性の高いスプルース（トウヒ属）合板は、壁や床などの耐力構造に特に適しています。合板に施される難燃処理は、環境に悪影響を与えません。



UPM森林部門

UPM森林部門は、UPM事業用に競争力の高い木材とバイオマスを確保し、北欧でUPMの所有林と私有林を管理しています。さらにUPMは、森林オーナーや森林投資家に森林サービスを提供しています。

当社事業の基礎は、持続可能な森林利用です。森林の生物多様性保存は、当社事業に不可欠です。当社では、可能な限り認証を受けた木材を使用し、認証を受けた木材の利用を促進しています。そのため、木材の原産地を把握するとともに、納品されたすべての木材を対象に、第三者の検証を受けた流通過程の管理認証を維持しています。

upmmetsä.fi (fi)
upmforestlife.com

事例

誰でもできる森林体験

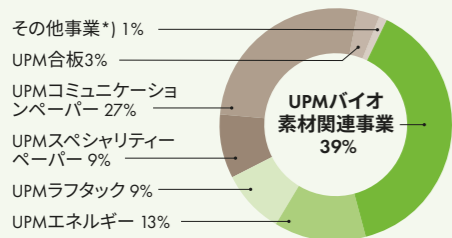
UPM Forest Lifeウェブサイトでは、バーチャルツアーを通じてフィンランドの森林を案内しています。このウェブサイトでは、新技術を活用して、持続可能な森林管理と森林の生物多様性を啓蒙しています。森林ツアーでは、数百種もの植物や動物を見て、森林が気候変動の緩和に果たす重要な役割を学び、植林から伐採まで、森林を管理する森林プロフェッショナルを紹介します。



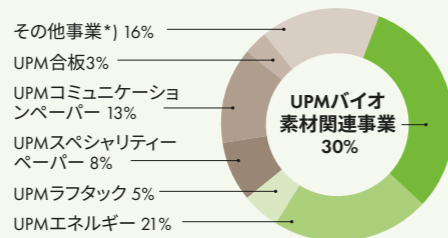
UPMは、フィンランド内に51万ヘクタール、米国に7万6,000ヘクタールの森林を所有しています。UPMが所有する森林はすべて、FSC®またはPEFC™、あるいは両方の認証を受けています。フィンランドのほか、中欧、ウルクアイ、米国から工場に原材料として木材を調達しています。

UPM事業ポートフォリオ要約

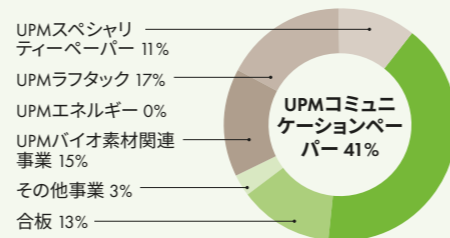
2019年度EBIT(特別利益・特別損失を除く)
14億400万ユーロ



総資本(2019年12月31日時点)
114億7,400万ユーロ

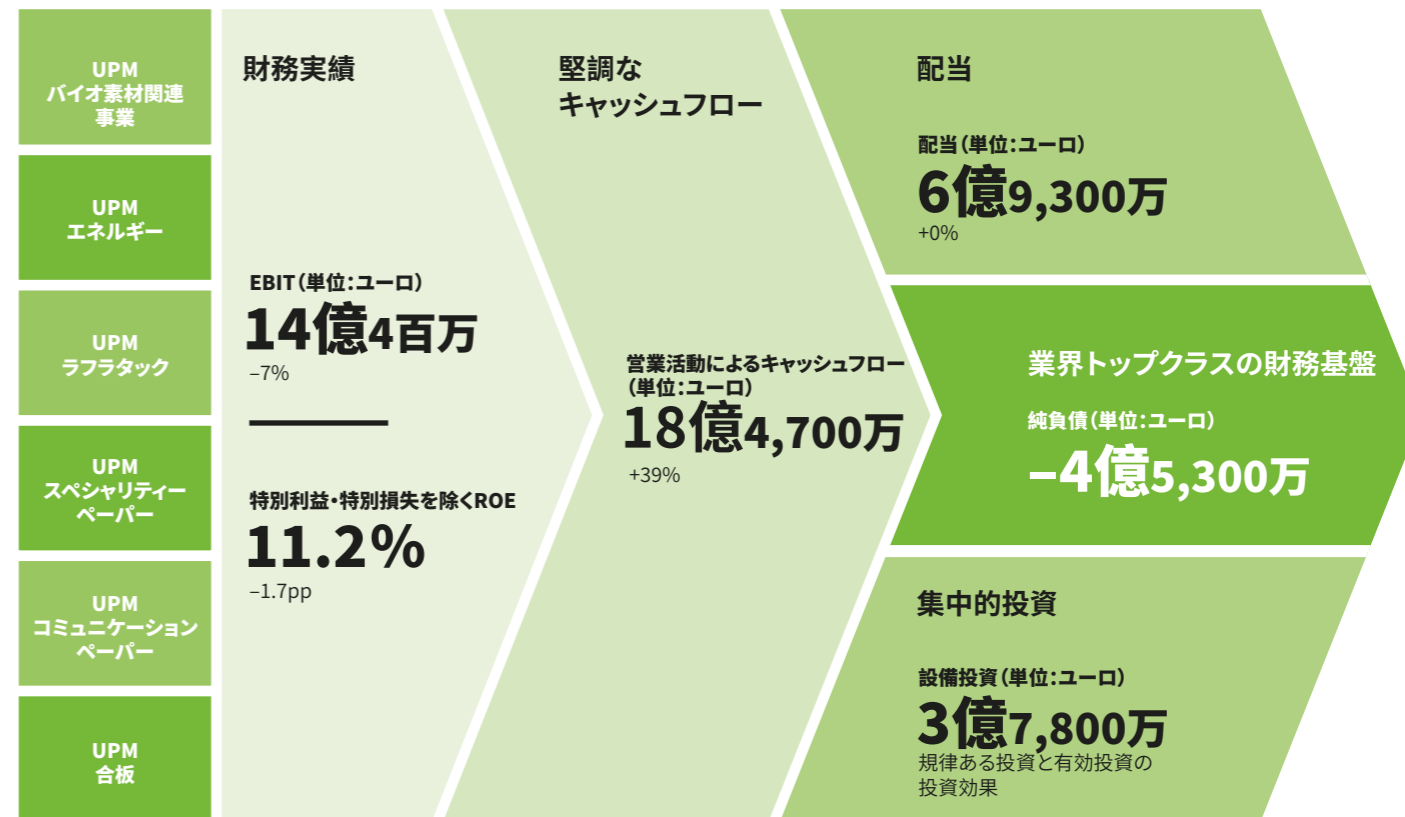


2019年度UPM事業別従業員



*UPM森林部門、UPMバイオ複合材部門、UPMバイオケミカル部門、UPMバイオメディカル部門および法人サービス。

2019年度の概況



2019年度主要業績評価指標

財務データ

価値ある成長、革新、責任への投資を確保することが、長期的な収益増のカギとなります。

事業ポートフォリオの改善

利益幅の大きい持続可能な成長事業のシェアを伸ばすことで、長期的な収益性の改善と株価上昇につながります。

業界トップクラスの財務基盤

リスクを緩和すると、機会を獲得した際に、適切なタイミングで、変革を加速することができます。

責任が生み出す価値

バリューチェーン全体で優れたガバナンス、責任ある経営を実現し、安全な作業環境を確保することが、高い競争力に重要です。

配当

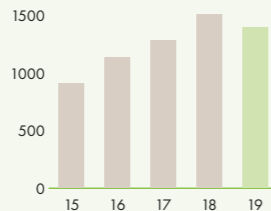
UPMは、営業活動による年間キャッシュフローの30～40%の配当を株主の皆さまに還元することを目標としています。

upm.com/investors

財務データ

特別利益・特別損失を除くEBIT

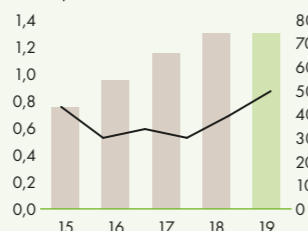
百万ユーロ



➔ 目標: EBIT成長

キャッシュフローに基づく配当金

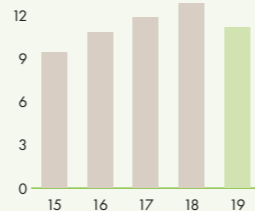
ユーロ/株



— 営業活動によるキャッシュフローの割合

特別利益・特別損失を除くROE

%

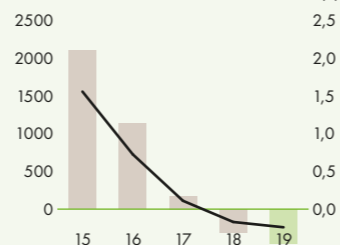


➔ 目標: 10%

純負債と発生負債

百万ユーロ

EBITDA (x)



■ 負債

— EBITDAに対する純負債

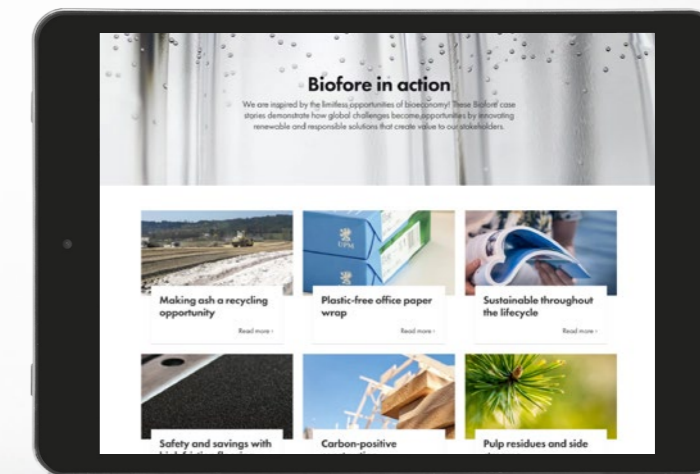
➔ 会社目標値: ≤2倍以上



Bioforeソリューション

UPMの日常業務、ならびに再生可能で持続可能なソリューションの開発を通じて価値を向上する方法をお読みください。

upm.com/biofore



UPMGlobal



UPM - Biofore Company



upmdotcom



UPMGlobal



upmpeople



UPM

upm.com

upm-japan.com